

1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、632件（92種類）であり、このうち特に件数の多かったものは、「特別地方消費税の廃止に関する請願」84件、「私学助成に関する請願」46件、「患者の立場に立った医療保険制度改革に関する請願」38件などであった。

各委員会への付託件数は、内閣26件、地方行政2件、法務14件、外務24件、大蔵24件、文教209件、厚生110件、農林水産3件、商工14件、運輸2件、労働37件、建設5件、科学技術7件、沖縄北方1件、国会移転1件、行革税制152件であった。

取り下げられた請願は1件（付託前）であった。

請願者の総数は1,098万2,617人に上っている。

請願書の紹介提出期限については、12月5日の議院運営委員会理事会において会期終了日の7日前の同月11日までと決定された。なお、最終回の付託請願については、一部の委員会で請願審査を16日に行うことが事前に予想されたため、請願文書表の配付を待たず、同日午前中に原本付託した。

12月16日及び17日、各委員会において請願の審査が行われ、8委員会において99件（18種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで18日の本会議において「第九次治水事業五箇年計画における投資規模の大幅な拡大に関する請願」外98件が採択され、即日内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は、15.7%であり、また種類別の採択率（採択数／付託数）は、19.6%であった。